

在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会

～報告～

平成29年10月31日

目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

○顔の見える関係会議や在宅医療研修の内容について検討

○その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）
について検討

<顔の見える関係会議>

第1回（通算21回目） 平成29年7月20日

アドバンス『がんになっても安心して住み続けることのできるまちづくり』

第2回（通算22回目） 平成29年11月28日（中央）29日（北部）12月1日（南部）

エリア別『災害時にお互いの役割を理解し行動するために』

第3回（通算23回目） 平成30年2月8日

『（仮）認知症について』

第1回(通算21回目)顔の見える関係会議報告

◎第1回(通算21回目) 顔の見える関係会議アドバンス研修

開催日時:平成29年7月20日(木) 午後7時~9時

内 容:①グループワーク『がんになっても安心して住み続けることのできるまちづくり』

②ミニレクチャー『がん患者さんとご家族を支える情報と地域づくり』

参 加 者:総数169名

医師20名(診療所18名, 病院2名), 歯科医師9名, 歯科衛生士1名

薬剤師11名, 看護師12名(訪問看護10名, 病院診療所2名)

医療ソーシャルワーカー1名, 管理栄養士5名, 介護支援専門員16名,

地域包括支援センター職員10名, リハビリ職9名

介護サービス事業者31名(介護老人保健施設2名, 介護老人福祉施設4名,

サービス付高齢者住宅9名, ケアハウス2名, グループホーム2名, 小規模多機能型居宅介護1名,

定期巡回・随時対応型訪問介護看護1名, ショートステイ1名, 通所介護3名, 訪問介護6名)

市民6名, 県内自治体職員14名, 東京大学1名, 企業等1名, 他6名, 柏市職員16名

新たな参加者の割合 26.6%!

会議の様子



グループワーク例



アンケートの結果, それぞれの内容について,
約98%の方が「役立った」「まあ役立った」と回答した

会議内容等に関する感想・意見等(抜粋)

診療所医師	改めて、患者・家族の視点・立場を意識した。がん療養について、柏の良さを再確認できた。
薬剤師	がんになった時の全体像がわかり、相談された際の自分達ができることがわかり良かった。市民に在宅医療の情報や仕組みが知られていないことを知ることができた。
病院看護師	『柏市でがんになることは不幸ではない！』という言葉に共感できた。柏市のネットワークを活用し、自分もその一員として、横のつながりを大事に業務に励みたい。
訪問看護師	地域の一員として伝える、連携する力をつけていきたい。患者様の声が聞けて良かった。
介護サービス事業者	がんになる前から情報収集することにより、がんになっても混乱が少なく、大事であるとわかった。さまざまな職種の視点からの意見が新鮮で、考え方が広がった。
リハビリ職	患者さんの立場で考えることで、どんなことを不安に感じているのか考える機会になった。
市民	がんになっても生活がベースであり、既存の仕組みやサービス、情報に結びつけていく入口が重要。柏モデルを知らない多くの市民をどう入口に導いていくかにスポットを当てた試みが大切



がんになっても安心して住み続けるために、必要な情報や支援が理解でき、多職種が連携して患者・家族を情報等につなげていく重要性を理解できた。
⇒10月29日『がん医療フォーラム2017』第2部に反映

第9回在宅医療推進のための多職種連携研修会

-開催報告-

日程：平成29年9月10日(日)，10月1日(日)

場所：柏地域医療連携センター

修了者数 51名

傍聴者数 1日目：32名，2日目：23名

主催：柏市医師会、柏市

共催：柏歯科医師会、柏市薬剤師会，柏市訪問看護ステーション連絡会，柏市介護支援専門員協議会，
柏市在宅リハビリテーション連絡会，東葛北部在宅栄養士会，柏市介護サービス事業者協議会

修了者（職種別）：医師3名，歯科医師5名，薬剤師6名，看護師10名，MSW3名，リハビリ職4名，
管理栄養士1名，介護支援専門員6名，地域包括支援センター職員7名，介護サービス事業者6名

1日目) 平成29年9月10日終日

- ・ 柏市における在宅医療の取り組み
- ・ 多職種連携協働：IPW（講義）
- ・ 在宅生活を支える多職種プレゼンテーション
- ・ 認知症の行動心理徴候の基本的理解（講義・GW）
- ・ 摂食・嚥下障害の基礎的知識と対応（講義）
- ・ 柏市における在宅での口腔ケア（講義）
- ・ 柏市における訪問リハビリテーション（講義）
- ・ 在宅での褥創ケア（講義）
- ・ グループワーク
（口腔ケア・訪問リハビリテーション・褥瘡ケア）
- ・ 意見交換会

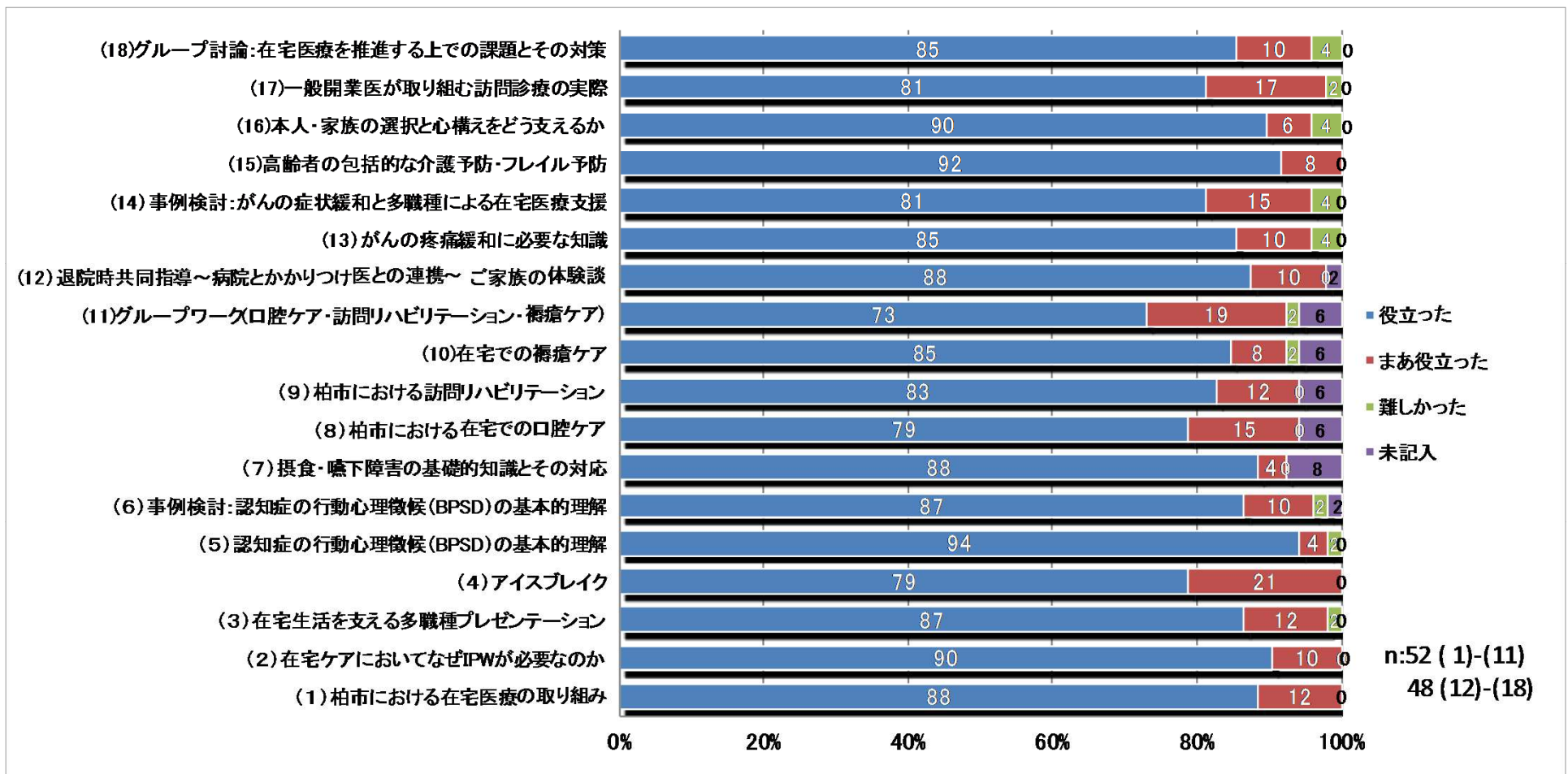
2日目) 平成29年10月1日終日

- ・ 退院時共同指導 ご家族の体験談（講義他）
- ・ がんの疼痛緩和（講義・GW）
- ・ 高齢者の包括的な介護予防・フレイル予防
（講義）
- ・ 本人・家族の選択と心構えをどう支えるか
（講義・GW）
- ・ 一般開業医が取り組む訪問診療の実際
（講義）
- ・ 在宅医療を推進する上での課題とその対策
（GW）
- ・ 修了証書授与

* GW：グループワーク

（実地研修） ・ 医師のみ概ね3時間程度/回。原則として，研修1日目と2日目の期間で1回実施

内容について



アンケートの結果, それぞれの内容について,
約96%の方が「役に立った」「まあ役に立った」と回答

研修会内容等に関する感想・意見(抜粋)

医師	多職種との意見交換やGWを行う機会は大変有意義だと実感した。お互い顔が見れることは良い事だと思った。
歯科医師	訪問医療現場の状況を知る機会自身で行う時以外にほぼ無いため、大変有意義に聞かせていただいた。
薬剤師	こんなに沢山の方が在宅に関わっていると知り驚いた。色々な支援ができることに感動し、自分も薬だけでなく色々な知識を身につけ患者様に提案できたらと思った。
訪問看護師	具体的な事例に対して各職種の視点や価値観を普段のケース会議以上に深めることができ、新たな気づきを得ることができた。
介護支援専門員	多職種の方とフランクに意見交換ができたことがとても財産になった。医療に対する苦手意識を少し減らすことができた。
リハビリ職	最初はGWが多く不安だったが、多職種との意見交換が大切だということを学ばせていただいた。
管理栄養士	もっと多職種との連携、知識の吸収が必要だと感じた。参加できてよかった。
病院看護師	病院の看護師が在宅へどう関わっていくのか考えるいい機会となった。
MSW	職種の異なる方の意見を聴けたことで、改めて自分の足りない点に気付くことが多かった。今後の業務に役立てていきたい。
包括職員	難しい課題の中で新しい発見を多く見つけることができた。仕事で活かしていきたい。他職の意見や仕事の中身を知ることが出来、とても勉強になった。
介護職員	他職種からの意見を聞く機会ができてよかった。医師との距離感が縮まり、同じ方向性を向くことができてよかった。



在宅医療の推進及び多職種連携の促進の機会になっている

平成29年度 今後の活動予定

<部会>

・第2回 平成30年3月1日(木)

(内容)平成29年度活動内容の評価と次年度にむけて

<顔の見える関係会議>

	開催日時	テーマ	会場
第22回目	平成29年11月28日(火) (柏西口・柏東口・柏東口第2 包括)	エリア別 「災害時にお互いの役割を理 解し行動するために」	柏地域医療連 携センター
	平成29年11月29日(水) (柏北部・北柏包括)		ウェルネス柏
	平成29年12月 1日(金) (光ヶ丘・柏南部・柏南部第2・ 沼南包括)		沼南庁舎
第23回目	平成30年2月8日(木)	(仮)認知症について	柏地域医療 連携センター